

○日本学術会議の運営に関する内規（平成17年10月4日日本学術会議第1回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
<p>(略)</p> <p><u>(分科会等の招集)</u></p> <p><u>第19条の2 分科会等は、分科会等の長が招集する。ただし、初回の分科会等は、常置の委員会の分科会等については、その分科会等が置かれる委員会の長が招集し、委員会の長が不在の場合は会長が招集する。臨時の委員会及びその他の分科会等については、会長が招集する。</u></p> <p>(分科会等の議長)</p> <p>第20条 分科会等の長は分科会等の議長となり、議事を整理する。</p> <p>(略)</p>	<p>(略)</p> <p>(新設)</p> <p>(分科会等の議長)</p> <p>第20条 分科会等の長は分科会等の議長となり、議事を整理する。</p> <p>(略)</p>

#### 附 則

この決定は、決定の日から施行する。

○選考委員会運営要綱（平成17年10月4日日本学術会議第1回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改 正 後	改 正 前
<p>(略)</p> <p>(分科会)</p> <p>第2 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。<u>分科会の設置期限は当該期末までとし、委員長は期首及び適時に分科会の設置について幹事会に提案する。</u></p> <p>(略)</p>	<p>(略)</p> <p>(分科会)</p> <p>第2 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。</p> <p>(略)</p>

附 則  
この決定は、決定の日から施行する。

○科学者委員会運営要綱（平成17年10月4日日本学術会議第1回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
<p>(略)</p> <p>(分科会)</p> <p>第2 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。<u>分科会の設置期限は当該期末までとし、委員長は期首及び適時に分科会の設置について幹事会に提案する。</u></p> <p>(略)</p>	<p>(略)</p> <p>(分科会)</p> <p>第2 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。</p> <p>(略)</p>

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

○科学と社会委員会運営要綱（平成17年10月4日日本学術会議第1回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
<p>(略)</p> <p>(分科会)</p> <p>第2 委員会に、次の表のとおり分科会及び小委員会を置く。<u>分科会及び小委員会の設置期限は当該期末までとし、委員長は期首及び適時に分科会及び小委員会の設置について幹事会に提案する。</u></p> <p>(略)</p>	<p>(略)</p> <p>(分科会)</p> <p>第2 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。</p> <p>(略)</p>

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

○国際委員会運営要綱（平成17年10月4日日本学術会議第1回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
<p>(略)</p> <p>(分科会)</p> <p>第2 委員会に、別表1のとおり分科会を、必要に応じて各分科会に別表2の通り小分科会を、別表3のとおり小委員会を置く。<u>分科会、小分科会及び小委員会の設置期限は当該期末までとし、委員長は期首及び適時に分科会、小分科会及び小委員会の設置について幹事会に提案する。</u></p> <p>(略)</p>	<p>(略)</p> <p>(分科会)</p> <p>第2 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。</p> <p>(略)</p>

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

○分野別委員会運営要綱（平成26年8月28日日本学術会議第199回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
<p>(略)</p> <p>(分科会等)</p> <p>第2 各委員会に置かれる分科会及び小委員会を、別表1のとおり定める。<u>分科会及び小委員会の設置期限は当該期末までとし、委員長は期首及び適時に分科会及び小委員会の設置について幹事会に提案する。</u></p> <p>(略)</p>	<p>(略)</p> <p>(分科会等)</p> <p>第2 各委員会に置かれる分科会及び小委員会を、別表1のとおり定める。</p> <p>(略)</p>

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

## 補欠の連携会員の選任の要望について

## ○提案内容

死亡により退任した梶雅範連携会員（第23-24期）及び辞職により退任した武田和義連携会員（第22-23期）について、後任者の選任を行うこととし、推薦を行う部を決定することとしたい。

## (参考)

- 補欠の連携会員の選考手続について（平成21年10月1日第82回幹事会決定）（抄）
  - 1 退任する連携会員の専門分野に係る部は、幹事会に対して補欠の連携会員の選任を別紙様式1により要望することができる。
  - 2 幹事会は、前項の要望について審議し、必要があると認めるときは、補欠の連携会員の候補者（以下「候補者」という。）の推薦を依頼する部を決定する。
  - 3 会長は、幹事会の決定を受けて当該部に対し、候補者の推薦を依頼する。

<別紙様式1>

要望書  
(補欠連携会員候補者関係)

平成28年8月26日

日本学術会議会長 大西 隆 殿

第一部長 小森田 秋夫

死亡により退任した梶雅範連携会員の後任者の補充について、下記の理由により必要であるので、補欠の連携会員の選任を行うよう要望します。

#### 記

梶雅範連携会員の死亡（平成28年7月18日）により、史学分野の連携会員が不足し、史学委員会、及び科学・技術の歴史的理論的社会的検討分科会、ならびにIUHP ST分科会において、十分な審議が困難になったため。

<別紙様式1>

要望書  
(補欠連携会員候補者関係)

平成28年8月26日

会長 大西 隆 あて

第2部長 長野 哲雄

辞職により退任した武田和義連携会員の後任者の補充について、下記の理由により必要であるので、補欠の連携会員の選任を行うよう要望します。

#### 記

武田和義先生は、長年にわたり日本学術会議会員および連携会員として、日本学術会議の活動に貢献してこられました。特に、農学委員会農学分科会および育種学分科会においては立ち上げを主導され、これまで指導的な立場で活躍されました。武田先生は現役の研究者としての利害にとらわれない高い見識から日本の農学（主に土地利用型農業と関連する農学）および育種学のもつ問題点、今後のあり方などについて貴重な意見を述べられ、両分科会にとってなくてはならない存在でした。農学分科会では、現在、生産農学に関わる学部教育の参照基準について報告を取りまとめつつあり、育種学分野の委員を至急補充する必要があります。また、育種学分科会では「気候変動に対応する育種学の課題と展開」に関する提言（あるいは報告）の原案作成を始めており、検討のための委員として連携会員の補充が至急必要であります。

【機能別委員会】

○委員の決定（新規 3 件）

（国際委員会 持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2016 分科会）

氏 名	所属・職名	備 考
杉原 薫	政策研究大学院大学特別教授	第一部会員
武内 和彦	東京大学国際高等研究所サステナビリティ学連携研究機構長・教授	第二部会員
大西 隆	豊橋技術科学大学学長、東京大学名誉教授	第三部会員、 会長
花木 啓祐	東京大学大学院工学系研究科教授	第三部会員、 副会長
吉野 博	東北大学総長特命教授・東北大学名誉教授・秋田県立大学客員教授・前橋工科大学客員教授	第三部会員

（国際委員会 持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2016 分科会  
持続可能な開発目標会議準備小分科会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
武内 和彦	東京大学国際高等研究所サステナビリティ学連携研究機構長・教授	第二部会員
花木 啓祐	東京大学大学院工学系研究科教授	副会長、 第三部会員
氷見山幸夫	北海道教育大学名誉教授	第三部会員
宮本 太郎	中央大学法学部教授	連携会員
安岡 善文	千葉大学環境リモートセンシング研究センター長、東京大学名誉教授	連携会員
江守 正多	国立研究開発法人国立環境研究所地球環境研究センター気候変動リスク評価研究室長	連携会員
春日 文子	国立研究開発法人国立環境研究所特任フェロー	連携会員

( 国際委員会 持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2016 分科会  
AASSA 地域ワークショップ準備小分科会 )

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
久保 亨	信州大学人文学部教授	第一部会員
永瀬 伸子	お茶の水女子大学大学院人間文化創生科学研究科教授	第一部会員
宮崎 恒二	東京外国語大学特任教授	第一部会員
磯部 光章	東京医科歯科大学大学院循環制御内科学主任教授	第二部会員
上田 一郎	北海道大学理事副学長	第二部会員
澁澤 栄	東京農工大学大学院農学研究院教授	第二部会員
荒川 薫	明治大学総合数理学部先端メディアサイエンス学科教授	第三部会員
小谷 元子	東北大学原子分子材料科学高等研究機構・機構長 兼大学院理学研究科教授	第三部会員
花木 啓祐	東京大学大学院工学系研究科教授	第三部会員 副会長
吉野 博	東北大学総長特命教授・東北大学名誉教授・ 秋田県立大学客員教授・前橋工科大学客員教授	第三部会員

分野別委員会運営要綱(平成26年8月28日日本学術会議第199回幹事会決定)の一部を次のように改正する。

改正後					改正前				
別表第1					別表第1				
分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	備考	分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	備考
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
地球惑星科学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	地球惑星科学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	地球惑星科学委員会地球惑星科学人材育成分科会	1. 学校教育・社会教育全般の中で、今後の地球惑星科学に関わる人材育成の基本方向 2. 地球惑星科学の研究者及び高度専門知識を生かす職業人の人材育成の現状とあり方に係る審議に関すること	40名以内の会員又は連携会員			地球惑星科学委員会地球惑星科学人材育成分科会	1. 学校教育・社会教育全般の中で、今後の地球惑星科学に関わる人材育成の基本方向 2. 地球惑星科学の研究者及び高度専門知識を生かす職業人の人材育成の現状とあり方に係る審議に関すること	40名以内の会員又は連携会員	
	地球惑星科学委員会地球惑星科学人材育成分科会地学地理教育用語検討小委員会	1. 地学・地理の教科書で使われている用語の現状把握と、検討すべき用語の抽出 2. 推奨する用語の選定 3. 選定された推奨用語案へのパブリックコメントの募集とその活用 4. 推奨用語に関する提言案の作成に係る審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員又は会員若しくは連携会員以外の者	設置期間: 平成28年9月1日～平成29年9月30日	(新規設置)				
	(略)	(略)	(略)	(略)					
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

地球惑星科学委員会 地球惑星科学人材育成分科会小委員会の設置について

分科会等名：地学地理教育用語検討小委員会

1	所属委員会名	地球惑星科学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員又は会員若しくは連携会員以外の者
3	設置目的	地学及び地理の用語の中には、一つの項目に対して複数の用語が当てられている事例や、不適切な用語及び学術的には使われない用語の使用が少なからず散見される。このことは教育・学習の現場を混乱させており、用語の整理が望まれている。本小委員会では、地学及び地理に関する基礎的な数十の項目について、推奨する用語を定め、教育・学習の指針となるような提言を作成する。
4	審議事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地学・地理の教科書で使われている用語の現状把握と、検討すべき用語の抽出。</li> <li>2. 推奨する用語の選定。</li> <li>3. 選定された推奨用語案へのパブリックコメントの募集とその活用。</li> <li>4. 推奨用語に関する提言案の作成。</li> </ol> に係る審議に関すること
5	設置期間	<span style="border: 1px solid black;">時限設置</span> 平成28年9月1日～平成29年9月30日
6	備考	※新規設置

○代表派遣：平成28年10-12月期の会議派遣候補者

番号	国際会議等	会 期		開催地及び用務地	派遣候補者 (職名)	備考
			計			
1	第12回国際人権ネットワーク隔年 総会等	10月5日 ～	4日	パナマシティ	後藤 弘子 第1部会員 千葉大学大学院専門法務研究科教授	科学者に関する国際人権問題委員会 第3区分
		10月8日		パナマ		
2	国際科学会議(ICSU)科学研究にお ける自由と責任に関する委員会 (CFRS)	10月6日 ～	2日	パリ	井野瀬 久美恵 第1部会員 甲南大学文学部教授	国際委員会 第3区分
		10月7日		フランス		
3	国際社会科学会議総会 (ISSC)	10月23日 ～	4日	オスロ	青木 玲子 第1部会員 九州大学理事・副学長	第一部国際協力分科会 第1区分
		10月26日		ノルウェー		
4	国際科学会議(ICSU)理事会・同臨 時総会	10月23日 ～	4日	オスロ	巽 和行 連携会員 名古屋大学名誉教授	国際委員会 第2区分
		10月26日		ノルウェー		
5	国際科学会議(ICSU)臨時総会・同 第32回科学計画評価委員会 (CSPR)	10月24日 ～	3日	オスロ	春日 文子 連携会員 国立研究開発法人国立環境研究所特任フェロー	国際委員会 第3区分
		10月26日		ノルウェー		
6	国際土壌科学連合(IUSS)中間会議	11月20日 ～	6日	リオデジャネイロ	犬伏 和之 特任連携会員 千葉大学大学院園芸学研究科教授	IUSS分科会 第2区分
		11月25日		ブラジル		
7	国際科学会議(ICSU)アジア・太 平洋地域委員会定例会合	11月22日 ～	2日	コタキナバル	山形 俊男 連携会員 国立研究開発法人海洋研究開発機構アプリケーションラボ所長	国際委員会 第3区分
		11月23日		マレーシア		
8	世界科学フォーラム(WSF)運営委 員会	11月予定	1日	ブダペスト	花木 啓祐 第3部会員 東京大学大学院工学系研究科教授	国際委員会 第3区分
				ハンガリー		
9	国際科学史技術史科学基礎論連合/ 科学史技術史部門評議会	12月2日 ～	2日	リオデジャネイロ	橋本 毅彦 連携会員 東京大学大学院総合文化研究科教授	IUHPST分科会 第2区分
		12月3日		ブラジル		
10	世界工学団体連盟(WFEO)総会	12月3日 ～	7日	リマ	小松 利光 第3部会員 九州大学名誉教授	WFEO分科会 第1区分
		12月9日		ペルー		



…特任連携会員申請